

認知症の理解	1年・前期	1単位 15時間	教授 石久保雅浩
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	33310761

1. 授業のねらい・概要

超高齢社会を迎え、認知症高齢者が益々多くなっている。認知症のある人の言動には、健常者が推察できにくい状況や思いがある。認知症と認知症のある人の理解を深め、認知症のある人の尊厳をまもる支援のあり方を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 認知症の中核症状が説明できる。(D-2)
2. 認知症の行動・心理症状が、それぞれ3項目以上述べることができる。(D-2)
3. 認知症のある人の心理的特徴が説明できる。(D-2)
4. パーソンセンタードケアについて説明できる。(D-2)
5. 認知症のある人の生活上の困難が説明できる。(D-2)
6. 実際に認知症に罹患した人の中核症状と行動・心理症状がレポートに列挙できる。(D-2)
7. 認知症のある人への支援方法について、説明することができる。(D-2)
8. 認知症のある人の介護者への支援方法について、説明することができる。(D-2)
9. 認知症のある人と家族の諸問題や支援について自分の考えを表現できる。(D-2)

3. 授業の進め方

講義は認知症の基礎的知識や行動心理症状（BPSD）、認知症の人と家族の支援について行う。事例を基に認知症高齢者および家族への支援について考え、理解を深める。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、リフレクションを用いる。

【ICT活用の有無】 ICT活用の実施：メールやチャット等による学生と教職員看での学習に関するコミュニケーションの機会。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	老化の理解	講義	予習：テキストの「認知症とは」の部分を事前に読む。 復習：「高齢者の生きてきた背景と認知症」について授業内容を振り返る。	石久保雅浩
2	認知症の基礎知識	講義	予習：テキストの「中核症状」と「行動・心理症状」を読む。 復習：「中核症状と行動・心理症状の具体的な症状」について授業内容を振り返る。	石久保
3	認知症ある人の心理的特徴	講義	予習：テキストの「パーソンセンタードケア」を読む。 復習：「認知症のある人の世界を理解していく」について授業内容を振り返る。	石久保
4	認知症を取り巻く環境	講義	予習：中核症状と行動・心理症状について具体的にまとめておく。	石久保

			復習：鑑賞した DVD を元に、実際にあった中核症状と行動・心理症状をレポートにまとめる。	
5	認知症のある人の基本的なケア	講義	予習：テキストを参考にして、「アルツハイマー型認知症」や、その他の認知症の症状と経過の違いを確認しておく。 復習：アルツハイマー型認知症の特徴的な認知症状に対するケアについて授業内容を振り返る。	石久保
6	認知症にある人の日常生活に応じたケア	講義	予習：テキストの「各論」編の部分を事前に読む。 復習：日常生活中に出現する症状に応じた対処法について授業内容を振り返る。	石久保
7	認知症のある人および家族のケア	講義	予習：テキストの「介護者への支援」を事前に読んでおく。 復習：介護者の支援方法や、QOL や健康について、授業内容を振り返る。	石久保
8	まとめ・試験	講義 試験	認知症についての要点を振り返り、具体的なイメージをまとめる	石久保

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）80%，授業中の態度20%を総合して評価する。

成績評価は、「2. 学修の到達目標」に示した評価観点ごとに、ルーブリック評価を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価に関する詳細は、第1回講義内で説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は、事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：山口 晴保他（2023）認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント 第4版 快一徹！
脳活性化リハビリテーションで進行を防ごう 協同医書出版社

参考文献：随時紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの授業計画の範囲、および、事前事後学修（学修課題）について、最低90分の予習及び授業内容について以上の復習を行うこと。

学習内容に関する質問は、メールでも対応する。

8. 受講上の留意事項

主体的、意欲的な授業への参加が重要である。遅刻、無断欠席および講義中の私語、授業に関連する作業以外の行動は禁止とする。グループワークは、主体的かつ協働的に参加すること。

遅刻は、1コマ中45分未満の欠課を1欠課、45分以上の欠課を2欠課とし、合計8欠課を1欠席とする。

地区踏査実習の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

定期試験の解答は試験後口頭等でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関等における看護師としての実務経験を活かして，講義を行う。